

設立3年・ビヨンドボーダーズ

インバウンド不動産ポータルサイトで急成長



④⑤ B B社が手掛けるクアララルンプールの高層タワーレジデンス。1戸140万MYR前後から

「15年7月に設立して以来、当社の売り上げは毎年、前年の3倍に伸びている。22年までに東南アジア、欧米の主要都市すべてに当社の支店を設置するのが目標の一つ」と語るのは、「海外×IT×不動産テックスタートアップ」を標榜するビヨンドボーダーズ(東京都新宿区)の速藤忠義社長だ。インバウンド不動産ポータルサイト「セカイプロパティ」の運営と国内外の不動産の売買仲介事業を手掛ける同社が、創業3年にして快進撃を続けられる理由とは? 同社長に単独インタビューを行った。

ビヨンドボーダーズ(BB)を活用したエスクローサービス「セカイプロパティ」が取り扱っている物件を掲載する。扱っている物件は、日本国内の物件を掲載すること。一方、後者との提携でBB社は、E AJ社が提供する非対面決済サービス「アワーズ」を利用して、

「セカイプロパティ」が取り扱っている物件を掲載する。扱っている物件は、日本国内の物件を掲載すること。一方、後者との提携でBB社は、E AJ社が提供する非対面決済サービス「アワーズ」を利用して、

「アワーズ」を利用して、

1600社以上の現地法人と提携

本人ユーザーには海外の不動産を、外国人ユーザーには日本国内の不動産を紹介している。同社は東京とマレーシアにオフィスを持ち、同サイトはアクセス累計165カ国、世界32カ国の不動産を掲載。7月時点の同サイトのアクセス元ランキングは、1位日本、2位アメリカ、3位マレーシア、4位中国、5位タイ、6位香港となっており、同社の東南アジアを中心とした不動産販売サポート事業が好調なことを示している。

現在、日本人の富裕層向けにマレーシアの首都クアラ Lumpur のリッツ・カールトン・レジデンスを販売している。

同社長の経歴は、やはり同社の運営に多大な影響を及ぼしている。同社長は、ゴルフドクレストの分譲マンション販売の営業担当から、当時まだスタートアップ企業だった「マレーシアとの由縁」

同社長の経歴は、やはり同社の運営に多大な影響を及ぼしている。同社長は、ゴルフドクレストの分譲マンション販売の営業担当から、当時まだスタートアップ企業だった「マレーシアとの由縁」

「アワーズ」を利用して、

「アワーズ」を利用して、

「アワーズ」を利用して、

「アワーズ」を利用して、



「野望」を語る速藤社長

「セカイプロパティ」が取り扱っている物件を掲載する。扱っている物件は、日本国内の物件を掲載すること。一方、後者との提携でBB社は、E AJ社が提供する非対面決済サービス「アワーズ」を利用して、

「アワーズ」を利用して、

「アワーズ」を利用して、

「アワーズ」を利用して、

日本の大手デベロッパー系列の現地合弁会社と昨年からの手を組んで富裕層向けに物件の販売を行い、クアラ Lumpur のリッツ・カールトン・レジデンスを販売している。同社長の経歴は、やはり同社の運営に多大な影響を及ぼしている。同社長は、ゴルフドクレストの分譲マンション販売の営業担当から、当時まだスタートアップ企業だった「マレーシアとの由縁」